

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 日南市

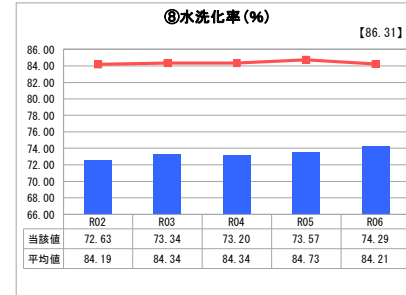
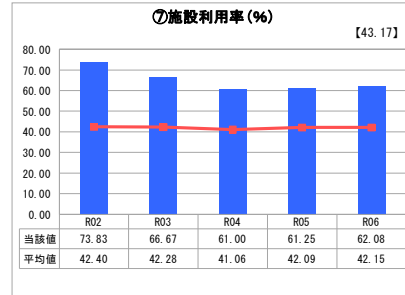
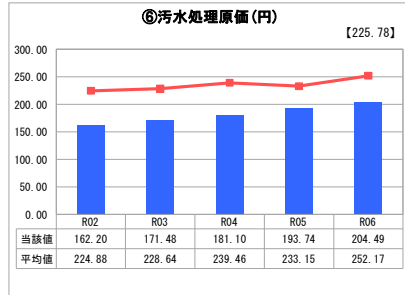
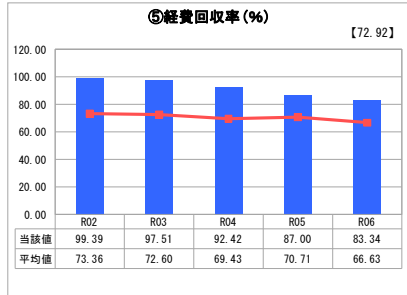
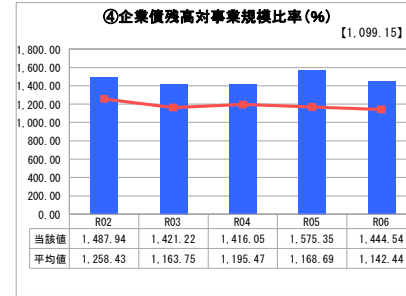
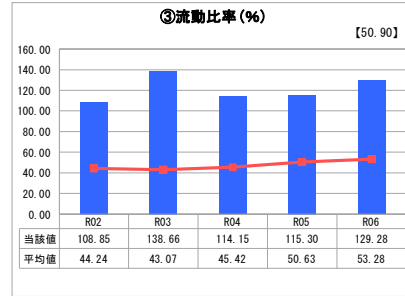
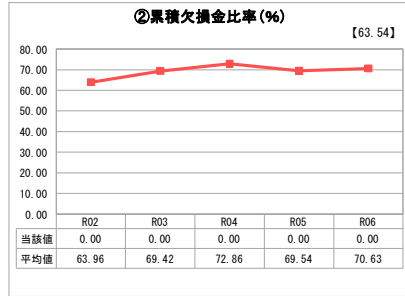
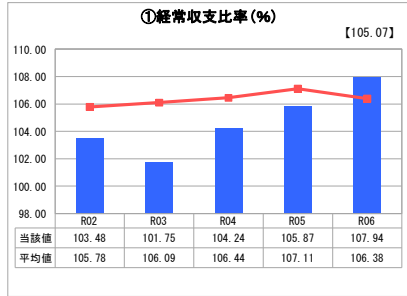
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	79.64	6.18	93.33	3,025

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
48,198	535.49	90.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,944	1.81	1,626.52

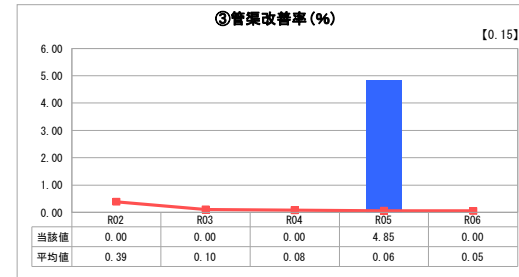
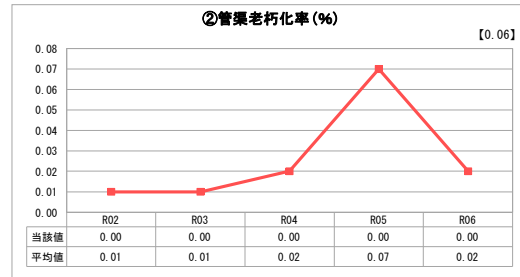
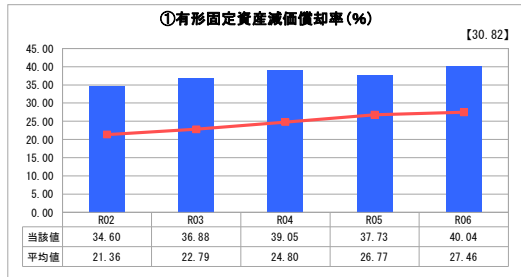
## グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」については、黒字となっており、経営の健全性は確保されています。この水準を維持するよう引き続き費用の削減及び黒字の確保に努力していきたいと考えています。

「流動比率」については、前年度と比較し未収金の減少により流動資産が減少しましたが、未払金の減少により流動負債も減少しているため、数値は100%を超えています。今後も健全経営に努め、比率の上昇を目指します。

「企業債残高対事業規模比率」については、類似団体よりも高くなっています。農業集落排水との統合により、しばらくは管渠工事など投資が増大する見込みであり、計画的な事業を推進します。

「経費回収率」については、下水道使用料は前年度と比較して増加しているものの、依然として基準となる100%を下回っています。今後も収入の確保及び経費の節減に努めます。

「汚水処理原価」については、類似団体平均値よりも低い数値となっています。引き続き、効率的な汚水処理に努めます。

「施設利用率」については、類似団体平均値よりも高い数値となっていますが、経営の効率性における課題となっています。引き続き、下水道への接続を図り、施設利用率の向上に向けて取り組みます。

「水洗化率」については、類似団体平均値を下回っています。人口減少、高齢化及び地理的要因等と推測していますので、引き続き水洗化率の向上に向けて取り組んでいきます。

### 2. 老朽化の状況について

老朽化状況について、管渠については、平成25年度に整備事業を完了しており、老朽化対策を早急に実施しなければならない状況ではありません。

ただし、「有形固定資産減価償却率」については資産の老朽化度を示していますが、類似団体平均値よりも高い数値となっています。処理施設については耐用年数を超えるものも出てきており、ストックマネジメント計画に基づき、改築更新を進めていきます。

## 全体総括

特定環境保全公共下水道については、黒字経営となっていますが、現在、農業集落排水事業との一元化による管渠工事が進行中であるため、施設・整備の合理的な投資及び財務状況の現状把握と分析を行いながら計画を進めていく必要があります。

経営戦略については、今後の支出・収入及び資産の状況を把握し、令和3年度に策定しました。

使用料改定（増額）については、令和7年度の審議料において検討しました。今後も人口減少に伴う使用料収入の減少、将来的な財源不足等を考慮し、また、今後一般会計からの繰入金に依存することも困難な状況にあるため、近隣及び類似団体の状況も参考にしながら、検討を行ってまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。